

KHK杯2008 開催!!

○ロボット異種格闘技戦 KHK杯2008開催

2008年10月18日(土)川口市、小原歯車工業株式会社 本社にて「かわさきロボット競技大会」に準拠したロボット大会を開催致しました。

○かわさきロボット競技大会とは？

かわさきロボット競技大会とは、無線操縦型ロボットを用いた異種格闘技戦の大会で愛好者の間では「かわロボ」と呼ばれ親しまれており、今年で初開催から15年目になります。ロボットとしての大きな特徴は脚機構とアーム機構を用いることで、車輪による移動は認められず、車輪は補助輪程度にしか使用できません。

スタート時に大きさが350mm×250mm、高さ700mm以内である必要があり、重量3500g以内となっています。

本大会では今年からロボットのアームにもRS-380PHモーターを使用するように制限されましたが、より多くの方に参加して頂くためにKHK杯ではモーターの制限を行いませんでした。

リングには山(もしくは丘)と呼ばれる障害物があり、相手にたどり着くには障害物を乗り越える必要があります。

1試合3分間で相手をリングから落とすか、ひっくり返せば勝利となります。

相手を倒すために強力なアームを装備したロボットの迫力ある試合を見ることができます。

また、各ロボット共に様々な工夫を凝らしているのも特徴です。

川口市では川口市や商工会などが企画し、当社が中心となってかわロボの大会を4回開催してまいりました、去年に引き続き今年も当社での開催を行いました。

[リンク:第15回かわさきロボット競技大会WEBページ](http://www.kawasaki-net.ne.jp/robo/)

<http://www.kawasaki-net.ne.jp/robo/>

○当日の様子

参加台数67台、来場者数およそ110名

当日はKHK本社4階を利用し大会を行いました。

参加者の皆様の協力もあり、スムーズに大会を進行することができました。



試合の様子

試合形式は2回戦まで1本勝負とし2回戦以降は2本先取としました。本家かわさきロボット競技大会ではスタート失敗による転倒は負けになりますが、KHK杯では特別に1回だけ取り直しを認めています。



ロボット同士の激しいぶつかり合いでロボットがリングの外まで飛ばされる事も近年のかわさきロボットでは激しいぶつかり合いを見る事ができます。試合内容によってはリングの外まで飛ばされる場合があります。



屋上リング

今年も天候に恵まれたので、屋上に練習用のリングを設置しました。試合に負けてしまった人も屋上のリングで練習することができます。



決勝戦の様子

決勝戦はシールド(盾)アーム同士の戦いになりました。
シールドアームは操縦の腕が重要です。お互い巧みな操縦で勝ち上がりました。

○大会結果

大会の結果は以下のようになりました。

優勝:レパード

準優勝:K314-7式

3位:燐 Vanadis

4位:やまだ一ん斬艦刀

大変多くの方々に参加、協力して頂きありがとうございました。

主催 小原歯車工業株式会社

協賛 川口機会工業共同組合

後援 (財)川崎市産業振興財団 / 魁!やまだ一ん塾